

北海道議會時報

第 8 卷 第 5 号

昭 和 3 1 年 5 月



北 海 道 議 会 事 務 局

北海道議會時報第8卷第5号(昭和31年)

— 第 5 号 目 次 —

議会の動き

常任委員会……………1

特別委員会……………6

総合開発調査特別委員会

会 合

全国都道府県議会議長会……………7

九都道府県議会議長会……………7

雑 録

地方行政疑義問答集……………8

地方自治法第二百十七条の疑義について

地方自治法第七条第一項の申請及び第五項の議決
の効力について

図書室だより……………9

四月のメモ

図書目録追録
(4)

表紙写真

藻岩山頂より札幌市をのぞむ

北海道議会事務局撮影

西村議員逝去

議員西村武夫君は、肉腫病のため昨年六月以来入院加療中のところ五月十二日午前六時三十分逝去された。
社会党道連、道炭党の合同葬儀が十五日東本願寺札幌別院において執行されたが、荒議長より靈前に弔詞が捧げられた。



弔 詞

恭しく同僚議員西村武夫君の御霊に白し上げます。

君は資性明敏、才気煥発にして早くより労働運動に従事し熱情を傾むけてことに当りその満々たる闘志は真に働く者の味方として信望を一身に集め昭和二十二年四月道議会議員に当選、社会党に所属して道政に参画するや、爾来三期の長きに亘り労働、水産、農地開拓、議会運営、その他の常任委員を歴任し、幾多の功績を残し、又昭和三十年五月には議会選出監査委員に選任せらるるの外、道総合開発特別委員として活躍せられ、その豊富なる知識と非凡なる手腕力量を発揮して道政進展のため大いに尽瘁されましたことは道民の等しく讃仰するところであります。

今や本道総合開発も愈々進捗して今後君の該博なる識見と卓越せる手腕とに俟つところ洵に大なるものがあつたのでありますが、昨年六月以来病魔の襲うところとなり只管その快癒の一日も速かならんことを期待したに拘らず病魔かにあらたまりなお幾多の春秋に富める身を以つて薬石効なく遂に溘焉として長逝せられましたことはまことに痛惜哀悼の情に堪えません。

茲に北海道議會を代表して多年本道の発展に尽瘁せられた君の業績を誼え衷心から御冥福をお祈りし謹んで敬弔の意を表します。

昭和三十一年五月十五日

北海道議會議長 荒 哲 夫



常任委員会

總務委員会

○四月二十三日 午後一時四十五分、第一委員室において開議。

宮北委員長（社）より、町村合併促進の問題について説明を求め、総務部長、地方課長より説明を聴取、西野委員（自民）より、町村合併計画による合併強行と計画に対する再検討の問題、糸川委員（社）より、画一的な合併強行と町村の特殊事情に対する考慮の必要、中牧委員（自民）より、困難な所は現地調査を実施の上計画修正の必要、高田委員（社）より、総合開発第二次五カ年計画と町村合併との関連、合併促進に關連して差別待遇の問題について質疑及び意見があり、総務部長より答弁、再び中牧委員（自民）より、住民の反対がある場合の合併強行の問題及び先日の方針に會議における合併促進に關する総務部次長の発言について、宮北委員長（社）より、部長の考え方と出先、支庁長の合併促進に対する具體的推進

の問題、田呂委員（協ク）より、合併計画に対する理事者の考え方と住民感情と計画遂行の調整の問題、岩田委員（自民）より、総務部次長の答弁に關連して計画による合併促進に対する道の考え方と合併計画再検討の問題についてそれぞれ意見があり、総務部長、同次長より答弁があつて、現地調査の実施については明日の委員會で協議することとし、午後三時五十分散會。

○四月二十四日 午前十一時三十分、第一委員室において開議。

① 宮北委員長（社）より、町村合併に關する現地調査の実施について語り、二瓶副委員長（協ク）林（自民）松尾（自民）各委員より意見があつて、適当な時期をみて実施することを委員長一任とすることに決し、

② 次に地方税法の一部改正に伴う道税条例の一部改正について税務課次長より説明を聴取、午後一時五十分休憩、同一時五十分再開、糸川委員（社）より、軽油引取税による税収額及び免税証交付手続、農業を営む者に対する軽油引取税の免税等について、二瓶委員長（協ク）より、免税軽油使用者に対する免税証交付の窓口について、西野委員（自民）より、遊興飲食税における代金貸倒れの場合の扱い方について、田呂委員（協ク）より、改正税条例の施行時期について質疑があり、税務課次長より答弁、田呂（協ク）堀（社）委員及び二瓶副委員長（協ク）より本件の専決処分について意見があつて、暫時休憩、午後二時五十分再開、委員長より、休憩中に本件の専決処分については了解又は委員會で決定すべきでなく理事者において決める問題であることの意見があつたが、総務部長も在席していたのでそれぞれの空気を参酌の上善処されたい旨を述べ、

③ 次に請願、陳情の審査に入り、請願第百十九号、第二百十六号、陳情第二百三十二号は採択、請願第百十五号、第二百五十六号は保留に決し、暫時休憩、午後三時五十分再開、ついで請願第二百七十

一号は採択、陳情第四百十三号は保留、陳情第三百三十四号、第三百八十六号は議会の会議に付するを要しないものと決定、午後四時五分散会。

建築委員会

○四月二十八日 午後一時十八分、第二委員室において開議。

- ① 糸川委員長（社）より、第一回定例会で議決された公営住宅に対する国有資産等所在市町村交付金免除措置に関する意見書に基く中央折衝の結果について報告の後、請願の審査に入り、請願第二十七号、第二百十七号、第二百十八号はいずれも保留とすることに決し、
- ② 次に開発庁道総局の設置に伴う道の建築行政に及ぼす影響について住宅課長より説明を聴取、午後二時二十分散会。

農務委員会

○四月十八日 午前十時二十三分、第三委員室において開議。

- ① 秋山委員長（協ク）より、陳情の審査を行う旨を述べ、陳情第三百四十一号、第三百四十二号、第三百四十四号、第三百四十五号、第三百九十五号は採択、同第三百四十三号、第三百四十六号、第三百八十号は保留に決定。

- ② 次に提案になつてた農林中金からの乳牛導入資金融資に対する公正取引委員会の結論について大沢委員（自民）より発言があり、
- ③ 次に甜菜増産振興対策の問題について農政課長より説明を聴取、大沢委員（自民）より、甜菜生産振興に関する法案の国会提出の見通しについて質疑があり、農政課長より答弁、
- ④ 次に大豆増産計画について農業改良課長より説明を聴取、中野（与）委員（社）より、大豆の価格安定の問題について、大沢委員（自民）より、大豆の国内生産量、土地改良等による増産見込等について質疑及び意見があり、農政課長、農業改良課長より応答があつて、
- ⑤ 次に本道における葉たばこ耕作の問題について農業改良課長より説明を聴取。
- ⑥ 次に農業試験場十勝支場の試験場用地に関する調査結果について農業試験場副場長、農試総務部長より説明を聴取。
- ⑦ ついて高橋（辰）委員（社）より、先刻の乳牛導入資金の融資金の融資問題に関する大沢委員の発言に関連して、本件に関する公正取引委員会の審決書の写しが本委員会で配布されたことにより公正取引委員会の審決を支持するようにとられては影響があるので、これを支持するという立場をとるものでないことを確認された旨の発言があり、委員長より、参考に配布したので了承されたい旨を述べ、関連して大島委員（自民）よりも発言があつて、
- ⑧ 次に大豆増産問題及び甜菜製糖工場設置問題等について緊急に中央折衝を要する事態が生じた場合は、派遣委員の選任及び日程等委員長一任によりこれを行うこととし、午後零時十六分散会。

民生委員会

○四月十七日 午前十一時三十分、第三委員室において開議。

① 井口委員長（社）より、請願、陳情の審査を行う旨を述べ、請願第二百四十四号、第二百五十四号、陳情第三百三十七号、第三百三十九号、第三百四十号、第四百十四号、第四百十九号は採択、請願第七十三号、第二百二十六号、陳情第三百三十八号は保留に決し、一旦休憩、午後一時三十分再開。

② 次に国立光明寮の誘致、お年玉付年賀葉書による募金の配分、整肢学院の増築問題等に関する中央折衝の経過について民生部長より説明を聴取。

③ 次に三十一年度民生部関係予算について質疑に入り、大沢委員（自民）より、健保診療所補助金について、深山委員（自民）より、社会調査費及び被保護世帯特別実態調査費の内容、更生資金貸付事業費の貸付状況、保護費負担金の負担区分等について、中野（専）委員（社）より、授産事業の現状並びに青春対策の問題、民生委員の活動費の交付状況、母子金庫の貸付開始の時期、社会福祉主事補充の問題等について、新川副委員長（労）より、生活保護扶助費減額の原因及び昨年度の決算額、児童措置費の内容等について質疑があり、民生部長、社会課長より答弁、ついで北鮮引揚者の舞鶴出迎え（四月二十一日）について諮り、上京中の安達委員（無）に連絡して出迎えに行つてもらうこととし、次に福祉施設、国保診療所補助の問題、生活保護、青春対策、お年玉つき年賀葉書による募金の配分等について神奈川県の人相談所視察も併せて今国会会期中に中央折衝を行うこととし、派遣委員は三名程度、期間は九日間、委員の選任等については委員長一任することに決し、午後二時二十

六分散会。

○四月十八日 午後零時十六分、第三委員室において開議。

井口委員長（社）より、昨日来の風水害の被害状況について説明を聴取するため緊急委員会を開いた旨を述べ、被害状況について社会課長より説明を聴取の後、とりあえず漁船遭難の町村に見舞の電報を打つこととし、今後緊急の事態が発生した場合には適當の処置をとることを委員長に一任することに決し、午後零時三十五分散会。

商工委員会

○四月二十八日 午前十時四十八分 第三委員室において開議。

① 森川委員長（社）より、雑豆類の需給調整問題等に関する中央折衝経過並びに大阪市における国際見本市の視察状況について報告を求め、和平副委員長（労）より報告があり、これに関連して西川（自民）堀田（自民）委員より、機雷浮流対策について質疑及び意見があり、和平副委員長（労）より説明があつて、

② 次に請願の審査を行い、請願第二百五十号、第二百八十三号は採択、同第三十三号、第四十八号、第四百十三号、第二百七十二号は保留に決し、午後零時一分散会。

文教委員会

○四月十八日 午後一時五十二分、第二委員室において開議。

開議前、浜頓別町助役より、浜頓別高等学校の道立移管について陳情を聴取。

遠藤副委員長（社）より、僻地教育振興法改正問題に関する中央折衝の経過について報告の後、請願、陳情の審査に入り、市町村立高校の道立移管に関する案件の取扱い方について協議の後、道立移管の問題については道教委の全体計画に関する資料の提出を待つて検討することとし、請願第百五十号、第二百七十三号、陳情第三十一号、第百八十九号、第二百五十五号は保留とすることに決定、ついで陳情第三百八十七号は採択、陳情第二百五十九号、第三百八十八号、第三百八十九号は保留に決し、午後三時二十五分散分。

農地開拓委員会

○四月十九日 午前十時五十五分、第二委員室において開議。

① 笠井委員長（社）より、請願、陳情の審査を行う旨を述べ、請願第百二十二号、第百二十四号、第百二十五号、第百四十六号、第百六十五号、第百六十九号、第百九十三号、第二百七十号、第二百八十四号、陳情第二百六十三号乃至第二百六十六号、第二百九十号、第三百五十号、第三百五十二号、第三百五十五号、第三百九十号、第三百九十九号は採択、請願第百四号は不採択、請願第百二十三号、

第百七十号、陳情第三百九号、第三百五十四号、第四百三号、第四百十二号、第四百二十号は保留、陳情第二十八号、第百六十三号は議会の会議に付するを要しないものと決定。

② 次に自作農維持創設資金関係について農地課長、三十一年度土地改良事業補助要求調について土地改良課長よりそれぞれ説明を聴取、ついで自作農維持資金の問題、土地改良新規事業認可の問題等に関する中央折衝の実施について諮り、異議なくそのことに決し、派遣委員の選任、日程等は委員長一任とすることとし、午後一時四十五分散会。

土木委員会

○四月二十五日 午後一時三十分、第一委員室において開議。

① 時田委員長（社）より、四月風災害による公共土木施設被害状況について説明を求め、土木部長より説明を聴取。

② 次に公共土木施設災害復旧事業費国庫負担金増額交付方要望に関する中央折衝の経過について川口委員（自民）より報告があつて、

③ 次に請願、陳情の審査に入り、請願第一号、第百七号、第百二十七号、第百五十八号、第百八十六号、第百九十二号、第二百一十一号、第二百三十三号乃至第二百三十五号、第二百三十七号、第二百三十八号、第二百四十号、第二百四十五号乃至第二百四十八号、第二百五十一号、第二百五十二号、第二百六十号、第二百六十二号、第二百六十四号乃至第二百六十八号、第二百七十四号、第二百七十六号、第二百七十七号、第二百八十号、第二百八十六号、陳情第二百九十八号、第三百七号、第三百十八号、第三百十九号、第三百六十九号

乃至第三百七十三号、第三百九十一号、第四百号、第四百四号、第四百五号、第四百九号は採択、請願第二百二十六号、第六百六十一号、第二百十四号、陳情第十七号、第三百三十三号、第三百八号は不採択、請願第四百四十五号、第七百七十九号、第八百八十二号、第二百号、第二百三十六号、第二百三十九号、第二百四十一号、第二百四十三号、第二百六十三号、第二百七十五号、第二百八十一号は保留、請願第四百十四号は議会の会議に付するを要せざるものと決定。

④ 次に道内一般土木施設調査の実施について諮り、暫時休憩、午後二時三十分再開、石狩、空知、上川、後志、宗谷各支庁管内に発生四月風災害については、一応六月中旬頃実施予定の一般土木施設調査に含めて行うこととするが、緊急調査の必要を認めた場合は委員長一任とすることに決し、午後二時二十五分散会。

衛生委員会

○四月二十六日 午前十一時、第一委員室において開議。

① 鈴木委員長（社）より、四月風災害による被害地の防疫措置について説明を求め、衛生部長、保健予防課長より説明を聴取。

② 三月二十九日東京において開催の総合開発委員会文化厚生小委員会における開発地の公衆衛生施策上の問題点に対する意向について本多委員（自民）より報告があつて、

③ 次に札幌医大の大学院設置正式認可について医大事務局長より説明を聴取。

④ 次に請願、陳情の審査を行い、請願第二百六十九号、陳情第三百九十四号は不採択に決定。

⑤ ついで道内衛生施設の調査については六月中旬頃実施の予定とし、なお必要ある場合の調査実施については委員長一任とすることとし、次に児見山副委員長（社）より、血液銀行における不良外来者による暴力事件発生の問題について、中山委員（自民）より、重症患者の取扱いに関連して札幌医大附属病院における医師の不親切とサービス改善の問題について質疑及び意見があつて、午後零時五十分散会。

治安委員会

○四月二十五日 午前十一時三十七分、第二委員室において開議。

① 田呂委員長（協ク）より、請願、陳情の審査を行う旨を述べ、請願第八十八号、陳情第三百七十八号は採択、請願第二百十二号、第二百四十二号、陳情第二百九十四号、第三百七十八号は保留に決し、一旦休憩、午後一時四十三分再開。

② 村本委員（社）より、血液銀行における採血防害等に対する取締りの問題、身体障害のある者の運転免許の問題等について質疑があり刑事部長、医務薬事課主任技師、警務部長より答弁。

③ 次に道内並びに道外の警察行政及び治安状況の調査について諮り、道内三班、道外一班を編成して調査を実施することに決し、派遣委員、調査箇所、期間等については次期委員会で協議することとし、午後三時四十分散会。

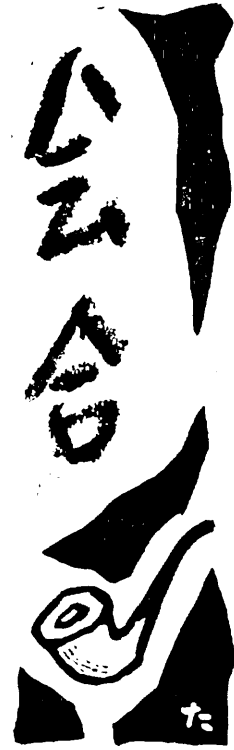
特別委員会

総合開発調査特別委員会

○四月十八日 午前十一時十分、運営委員室において運輸交通文化厚生小委員会を開議。

本多主査（自民）より、議長から通知のあつた委員の異動について、時田委員（社）が辞任し大石委員（社）が選任された旨を報告、ついで四月十六日に開かれた北海道開発審議会文化厚生小委員会に在札委員懇談会の経過について報告の後、本日午後一時より開かれる同小委員会に提出する資料について検討を求め、協議の後、午前十一時五十分散会。





全国都道府県議会議長会

○五月八日 東京都議会第四委員会室において第二十八回地方制度調査委員会を開催、その概要つぎのとおり。

先づ、委員長より去る三月二十日の臨時大会において委託された「地方税財政制度の確立」につき協議する旨の挨拶の後、国の地方制度調査会の現況について報告、ついで自治庁奥野税務部長より、本問題を中心とする政府方面の論議、今後の問題点についての講演を聴取、藤田特別委員、全国知事会佐藤事務次長より、それぞれ動向の発表があり、今後の運営について協議、本問題については複雑多岐に亘るので、更に機会を見て各方面の意見を聞き、一面全国知事会の行う実態調査の結果等をも勘案しながら同会と充分連繫を保ちつつ、逐次内容的な検討に入つて行くこととし、終つて、会長より地方自治法改正案の衆院地行委における審議の現況並びに四月二十七日同地行委において議長会代表人の参考人として述べた意見内容を報告した。

○五月九日 東京都議会第四委員会室において幹事会を開催、その概要

つぎのとおり。

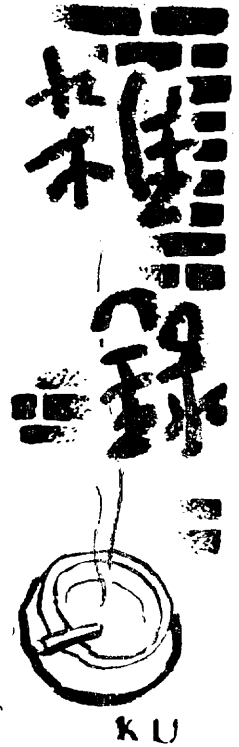
先づ、会長挨拶の後、梅本大阪府会議長より地方自治法の一部改正に対する修正要望運動の経過について報告、これに関連して会長から四月二十七日衆院地行委において参考人として本会修正要望意見を詳細述べた旨を報告の後、今後の運動対策について協議、ついで「教育委員会制度改正法案」に対する地方五団体の共同運動について会長より報告の後、今後の対策について協議した。

ついで地方税財政制度確立に関する本会地方制度調査委員会の経過について蒲田京都府議長の報告を了承、終つて標準的「会議規則」及び「委員会条例」の研究方について協議、これが研究方並びに原案作成を本会事務局参与会に諮問することに決定した。

九都道府県議会議長会

○五月十五日 福岡県（博多市日活ホテル）において開催、協議事項つぎのとおり。

- 一 新市町村建設促進法について
- 一 北京、上海、日本商品見本市出品の補助について
- 一 地域級制度の是正について



地方行政疑義問答集

地方自治法第二百七十七条の疑義について

(宮城県議会事務局調査課長照会
昭三一・四・一一自丁行発第一七号自治庁行政課長回答)

問一 議会の常任(特別)委員会は、分担金徴収条例の制定又は改正に

関する公聴会開催の公表を委員会に付託になる前になし得るか。

二 委員会に付託されたときを前提として公表してさしつかえないか。

三 もし違法とすれば、違法の手続をもつてなされた公聴会は有効か無効か、又議決の結果に及ぼす影響はどうか。

答一 付託前には公表すべきでない。

二 一により承知されたい。

三 所問のごとき瑕疵があるとしても、当該条例の議決の効力には影

響はないものと解する。

地方自治法第七条第一項の申請及び

第五項の議決の効力について

(群馬県総務部長照会 昭三一・四・二三
自治庁行政課長回答)

問

甲村を廃しその区域を昭和三十年四月十日、乙市に編入することの申請が同年三月十九日甲村及び乙市からなされたが、乙市内に当該合併に対しつよい反対があつたので、知事は地方自治法第七条第一項の規定による県議会への提案を保留したが、今日に至つて、甲村を廃し、その区域を昭和三十一年某月某日乙市に編入するような場合

一 さきになした甲村及び乙市の申請はなお有効であり、再申請は必要としないか。

二 さきになした申請のうち、昭和三十年四月十日とあるのを、昭和三十一年某月某日と改める旨の申請内容の変更についてあらためて甲村、乙市両議会の議決を必要とするか。

答一 お見込みのとおり。

二 必要としない。

圖書室だより

各官公庁・その他よりの受贈圖書

圖書名	受贈先
条約集	外務省
読書春秋 三月号	国会図書館
浄書速報 一九五六―三	同
資料月報 四十六号	同
納本週報 九―十二号	同
厚生広報 五、六号	厚生省
資料月報 五号	同
厚生 生 三号	同
国民栄達の現状	同
森林火災国営保険事業統計表 二九年	農林省
林業新知識 三月号	同
農林図書資料月報 三号	同
研究報告解説 八十四号	同
日本の有名松	同
林野時報 三号	同
農林統計調査 三号	同
郵政 三月号	郵政省
調査時報 十三号	同
日用品統計月報 二月号	通産省
建材統計月報 二月号	同
ゴム統計月報 二月号	同
皮革統計月報 二月号	同
窯業統計月報 二月号	同

石炭生産統計月報 三月号	同
コークス統計月号 一月号	同
通産統計速報 二月	同
鉄鋼統計月報 二月号	同
石炭需給統計月報 三月号	同
通産統計月報	同
紙パルプ統計月報 二月号	同
繊維統計月報 二月号	同
図書館だより 二、三号	海上保安庁
海上保安庁公報 三二五号	同
教育調査 十九号	文部省
教育統計 三十九号	同
ニュースレター 三十六号	同
文部広報 一三八、九号	同
公立小、中学校長期欠席児童調査 三十年	同
国立大学医学部附属病院経理	同
実態調査報告 二十八年	同
初等教育資料 三月号	同
Unesco Activities in Japan 三月号	同
レファレンス 六十二、六十四号	調査立法考査局
増加図書年報 六号	統計局
資料月報 八十六号	同
図書月報 二号	会計検査院
施設 三号	電々公社
週刊労働 五四八、五五〇号	労働省
毎月勤労統計調査結果表 全国調査八十号	同
毎月勤労統計調査結果表 (地方) 五十七号	同
国会旬報 二十六、二十八号	国会資料協会

自治春秋 五月号 第一法規出版社
 農家の友 五月号 農業改良普及協会
 北海道労働研究 道立労働科学研究所
 旬刊広報 一九三、一九五号 道弘報課
 北海道自治 五月号 道自治協会
 びぶろす No. 5 国立国会支部図書館
 北海警友 五月号 道警北海警友編集部

昭和三十一年五月二十日発行

北海道議会時報 (第八巻第五号)

編集 北海道議会事務局調査課
 発行 北海道議会事務局

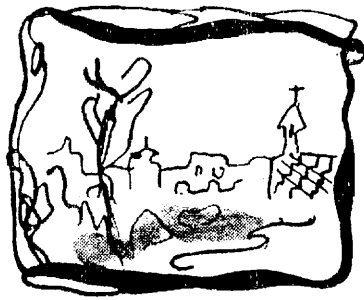


図 書 目 録

追 録 (4)

自 昭 和 30 年 4 月 1 日

至 昭 和 31 年 3 月 31 日



北 海 道 議 会 図 書 室

凡 例

1. 本目録は昭和31年3月末までに本図書室に収蔵した図書を収録したものである。
2. 分類は日本十進分類法 (N・D・C) によつた。
3. 資料のなかで、一般図書に類するものは本目録に収録した。

昭和 31 年 6 月

北海道議会図書室

分類目次

000	総記	2
010	図書館	
020	図書、書誌学	
030	百科辞書、索引	
040	論文集、講演集、雑書	
050	逐次刊行書、雑誌	
060	学会、博物館	
070	新聞、新聞学	
080	叢書、全集	
090	郷土資料	
100	哲学	2
110	哲学各論	
120	東洋哲学	
130	西洋哲学	
140	心理学	
150	倫理学	
160	宗教	
170	神道	
180	仏教	
190	キリスト教	
200	歴史	3
210	日本	
220	アジア	
230	ヨーロッパ	
240	アフリカ	
250	北アメリカ	
260	南アメリカ	
270	オセアニア	
280	伝記	
290	地誌、紀行	
300	社会科学	4
310	政治	
320	法律	
330	経済、経営	
340	財政	
350	統計	
360	社会	
370	教育	
380	民俗、風俗習慣	
390	国防、軍事	
400	自然科学	
410	数学	
420	物理学	
430	化学	
440	天文学	
450	地質学、地理学	
460	生物学、人類学	
470	植物学	
480	動物学	
490	医学、薬学	

500	工学、工業	
510	土木工学	
520	建築学	
530	機械工学	
540	電気工学	
550	海事工学、造兵学	
560	採鉱冶金学	
570	化学工業	
580	繊維、その他の工業	
590	家事	
600	産業	7
610	農業	
620	園芸、造園	
630	蚕糸業	
640	畜産、獣医学	
650	林業	
660	水産業	
670	商業	
680	交通	
690	通信	
700	芸術	7
710	彫刻	
720	図画、書道	
730	版画	
740	写真、印刷	
750	工芸美術	
760	音楽、舞踊	
770	演劇、映画	
780	運動競技	
790	遊芸、娯楽	
800	語学	
810	日本語	
820	中国語、東洋語	
830	英語	
840	ドイツ語	
850	フランス語	
860	スペイン語	
870	イタリア語	
880	ロシア語	
890	その他諸国語	
900	文学	8
910	日本文学	
920	中国文学、東洋文学	
930	英米文学	
940	ドイツ文学	
950	フランス文学	
960	スペイン文学	
970	イタリア文学	
980	ロシア文学	
990	その他諸国文学	

北海道關係圖書

記號	著 編 者 氏 名	書 名	発 行 所	発行年	判	頁数
090	北海道地方史研究会	目で見る北海道史	北方民生協会	1956	B 5	246
802	奥 田 二 郎	えぞ金豪伝	共立書房	1954	B 6	182
280	高 田 富 与	北海道行幸啓誌	札幌市役所	1955	A 5	224
280	橋 文 七	北海道史人名辞典第二卷	道文化資料保存協会	//	B 6	214
318	網走市史編纂委員会	網 走 市 史	網走市役所	//	A 5	203
318	北 海 道	北海道治概況	北 海 道	1954	B 5	30
318	北海道議会事務局	北海道議会史第二卷	北海道議会事務局	1955	//	1,665
318	室 蘭 市 役 所	室 蘭 市 史	室 蘭 市 役 所	//	A 5	779
318	札幌市編纂委員会	札幌市史概説年表	札幌市役所	//	//	451
318	寺 岡 常	北海道議会議員名鑑 昭和30年版	議員名鑑刊行委員会	//	B 6	210
320	第 一 法 規	北海道例規類集(加除式)				
		① 総 記				
		② 財務, 社会福祉, 消防				
		③ 衛 生, 勞 働				
		④ 経 済 (上)				
		⑤ 経済 (下) 開拓, 森林				
		⑥ 土 木 及 び 建 築				
		⑦ 教育, 警察, 公営企業				
		⑧ 北海道電信略号, 公用文例				
369	北海道社会福祉協議会	北海道社会福祉要覧 昭和28年版	北海道社会福祉協議会	1954	A 5	340
370	北海道立教育研究所	北海道教育史地方編(1)	北海道教育委員会	//	//	1160
517	北海道電源開発本部	雨竜川鷹泊電源開発事業史	北海道電源開発本部	1955	//	212
600	北洋博総務宣伝部	北 洋 博 写 真 集	北洋博総務宣伝部	//	A 4	
600	北 海 道	戦後開拓十年記念誌	北 海 道	//	A 5	196
610	北海道農協通信社	北海道農業協同組合年鑑 1956年版	北海道農協通信社	//	B 6	606
611	北 海 道	北海道農地改革史上巻	北 海 道	1954	B 5	649

000 総 記

040 論文集・講演集・雑書

記號	著 編 者 氏 名	書 名	発 行 所	発行年	判	頁数
Ma	正 木 ひ ろ し	裁 判 官 光 文 社	1955	B 6	217	

050 逐次刑行書・雑 誌

Kyo	共 同 通 信 社	世 界 年 鑑 1955 年 版	共 同 通 信 社	1955	B 5	777
Shi	新 大 阪 新 聞 社	大 阪 府 年 鑑 昭 和 31 年 版	新 大 阪 新 聞 社	//	//	740

100 哲 学

100 哲 学 總 記

記號	著 編 者 氏 名	書 名	発 行 所	発行年	判	頁数
〔世界大思想全集〕						
Se	ブ ラ ト ン 山 本 光 雄 訳	哲 学・文学思想篇 1	河 出 書 房	1955	B 6	359
Se	ミ ル ト ン 山 崎 正 一 他 訳	同 8	同	//	//	382
Se	スピノーザ, ライブニッツ 高 桑 純 夫 訳	同 9	同	1954	//	382
Se	ベ ン タ ム 堀 秀 彦 他 訳	社会, 宗教, 科学思想篇 7	同	1955	//	390
Se	アウグスチヌス 今 泉 三 良 訳	同 27	同	//	//	370
Se	ハックスレー 八 杉 竜 一 他 訳	同 36	同	//	//	323

200 歴史科学

200 歴史 総記

記號	著編者氏名	書名	発行所	発行年	判	頁数
Se	下中 弥三郎	世界歴史事典 第22巻	工凡社	1955	B 5	650

280 伝記

Ji	人事興信所	人事興信録 上巻	人事興信所	1955	B 5	
Ji	同	同 下巻	同	//	//	
Ka	河本年 克	皇居の面影	新聞同人会事務局	//	A 4	
Ni	日本官界情報社	全国官公庁主要職員録 昭和30年版	日本官界情報社	//	A 5	715
To	富田 正文	福沢諭吉の遺風	時事新報社	//	B 4	154

290 地誌・紀行

Hō	北海道身体障害者 福祉協会	国立日本観光特選 公園	道身体障害者福祉協会	//	B 4	52
Ni	日本交通公社	京都とびわ湖	日本交通公社	//	B 6	85



300 社会科学

310 政治

314 議会・立法

記號	著編者氏名	書名	発行所	発行年	判	頁数
Ho	北海道選挙管理委員会	昭和30年執行選挙結果調	北海道選挙管理委員会	1955	B 5	326
Sa	参議院事務局	参議院要覧(甲1)	参議院事務局	//	A 6	567
Shu	衆議院事務局	衆議院先例集	衆議院事務局	//	A 5	443

317 行政

To	東大会社科学研究所	行政委員会 理論, 歴史, 実態	日本評論社	1951	A 5	389
----	-----------	---------------------	-------	------	-----	-----

318 地方自治

A	秋田県政史編纂委員会	秋田県政史上巻	秋田県議会	1955	A 5	825
Ga	学陽書房編集部	地方自治小六法 昭和31年版	学陽書房	//	B 7	908
Ho	法貴三郎	教材地方自治論 憲法上の諸原則	明大出版部	//	A 5	117
Ho	星野光男	地方自治の研究	日本評論新社	//	//	278
Ji	自治庁調査課	地方自治年鑑 昭和30年版	時事通信社	//	//	484
Ka	神奈川県議会事務局	神奈川県議会史 第三巻	神奈川県議会	//	B 5	1013
Se	神奈川県	戦後の神奈川県政	神奈川県	//	//	695
Shi	新地方自治制度研究会	新地方自治の焦点	都政人協会	//	A 5	296
Shi	静岡県議会	静岡県議会史 第三巻	静岡県議会	//	//	997
Su	住木利男	地方自治はどこえゆく	学陽書房	1956	B 6	236
To	徳島県議会事務局	四年の回顧	徳島県議会事務局	1955	B 5	85
To	鳥取県庁	鳥取市大火災誌(復興篇)	鳥取県庁	//	A 5	486
Ze	全国都道府県議会 議長会事務局	全国都道府県議会 委員会条例集	全国議長会事務局	//	B 5	262
Ze	同	全国都道府県議会 会議規則集	同	//	//	757
Zi	自治庁	地方制度関係法令沿革史 第二篇	自治庁	//	A 5	342

320 法 律

320 法 律 總 記

記號	著 編 者 氏 名	書 名	発 行 所	発行年	判	頁数
Ha	井 上 登 他	判 例 体 系 第 一 法 規			A 5	加除式
		第7卷 民法 総則(Ⅲ)				
		第10卷 民法債権総論(Ⅰ)				
		第15卷 Ⅱ 民法 相 続				
		第24卷 民 事 訴 訟 法				
		第31卷 刑 法 総 則(Ⅱ)				
		第34卷 刑 法 各 則(Ⅳ)				
		第38卷 刑 事 訴 訟 法				
Ha	林 修 三	例 解 立 法 技 術	学 陽 書 房	1955	A 5	520
Ro	我妻栄, 宮沢俊義	六 法 全 書 昭和30年版	有 斐 閣	//	A 6	2942
Ro	同	同 昭和31年版	同	1956	//	2990

327 司法制度・訴訟手續法

Ka	兼 子 一	条解 民 事 訴 訟 法 Ⅱ	弘 文 堂	1954	B 6	337
----	-------	----------------	-------	------	-----	-----



335 経 済 学

記號	著 編 者 氏 名	書 名	発 行 所	発行年 判	頁数
Ka	鹿 野 義 夫	公 共 事 業	港 出 版 合 作 社	1955 B 5	636

342 財 政 史・財政事情

O	大蔵省昭和財政史編集室	昭 和 財 政 史 第4巻 臨時軍事費	東洋経済新報社	1955 A 5	580
---	-------------	------------------------	---------	----------	-----

349 地 方 財 政

O	大蔵省理財局地方資金課	資金運用部 地方資金 借り入れの要領	大 蔵 財 務 協 会	1954 B 6	372
Ta	立 田 清 士	地 方 財 務 規 程	良 書 普 及 会	1955 A 5	627
Zi	自 治 庁	地方税制度資料 第二巻	自 治 庁	// //	358
	同	同 第三巻	同	// //	336
	同	同 第四巻	同	// //	522

390 国 防 ・ 軍 事

Mi	宮 崎 清 隆	統 憲 兵	富 士 書 房	1952 B 6	270
Se	占領軍調達史編纂委員会	占領軍調達史(統計篇)	調 達 庁 総 務 部	1955 B 5	143

600 産 業

600 産 業 総 記

記號	著 編 者 氏 名	書 名	発 行 所	発行年	判	頁数
Mi	三 宅 晴 輝	日 本 の 産 業 と 観 光	北 海 タイムス 社	1955	B 5	453

610 農 業

Ha	林 秀 憲	北 ヨーロッパ の 農 業 国	北 海 道 農 村 新 聞 社	1955	A 5	191
----	-------	-----------------	-----------------	------	-----	-----

690 通 信

Ni	日 本 放 送 協 会	N H K 年 鑑 1956年版	日 本 放 送 出 版 協 会	1955	B 6	539
----	-------------	------------------	-----------------	------	-----	-----

700 芸 術

700 藝 術 総 記

記號	著 編 者 氏 名	書 名	発 行 所	発行年	判	頁数
Se	下 中 弥 三 郎	世 界 美 術 全 集 28巻	平 凡 社	1955	B 5	330

720 繪 画 ・ 書 道

Yo	読 売 新 聞 社	現 代 絵 画 の 四 巨 匠	読 売 新 聞 社	1955	B 4	156
----	-----------	-----------------	-----------	------	-----	-----

900 文 学

910 日 本 文 学

記號 著 編 者 氏 名 書 名 発 行 所 発行年 判 頁数

〔昭和文学全集〕

第55卷	平林たい子, 壺井栄集	角 川 書 店	1955	A 5	368
第56卷	続石坂 洋次郎集	同	//	//	416
第57卷	伊藤整, 石川淳集	同	//	//	368
第58卷	下 村 湖 人 集	同	//	//	544

913 小 説 ・ 物 語

To	富 田 常 雄 弁	慶 第7卷	大日本雄弁会講談社	1954	B 6	351
To	同	同 第8卷	同	//	//	325
To	同	同 第9卷	同	1955	//	387
Yo	吉 川 英 治 宮 本 武 蔵 上巻	六 興 出 版 社	1953	//		976
Yo	同	同 中巻	同	1954	//	987
Yo	同	同 下巻	同	//	//	
Yo	同	新 平 家 物 語 第17巻	朝 日 新 聞 社	//	A 5	314

919 日 本 漢 詩 文

鹿 島 守 之 助	春 及 廬 詩 藁 開 明 堂	1955	A 5	766
-----------	-----------------	------	-----	-----